



2018年10月号

No.173

ウトナイ湖通信

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター 発行

トピックス

台風と地震がもたらした影響

このたびの「平成30年北海道胆振東部地震」により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

当センターは、屋根の一部に破損が見られるなどしたもの、大きな損傷はなく、また、人的な被害もなかったことから、電気が復旧した後は通常どおり、開館しています。一方、林の中は倒木が何ヶ所にも見られます。ただし、これらの被害は、前日に通過した台風21号の強風によるもので、地震によってさらに広がったものと思われます。

大規模な倒木箇所は、除去までにしばらく時間を要する見込みです。9月25日現在、通行できる自然観察路は、当センター周辺のバリアフリー木道、および当センター～(ハスカップの小径・ハクチョウの小径)～ネイチャーセンター～(イソシギの小径)～イソシギのテラス。ご自身で安全を確保しながら、秋の散策をお楽しみください。

*その後、9月29日に全面通行可となりました。



根こそぎ倒れたカシワの大木。意外なほど、根の広がり浅い



自然観察路の注意看板。所により、迂回してください

本年度第1回目の「野生動物に学ぶ救護セミナー」を開催しました！

今年で6年目を迎えた救護セミナー。今回のテーマは「タンチョウを地域で守る」。第一部では、日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリのレンジャーによる「タンチョウとその保護活動」を、第二部ではネイチャー研究会 in むかわの会長による「タンチョウが好きなあなたへ～むかわ町から～」を講演いただきました。苫小牧市をはじめ、遠く倶知安町や登別市、平取町などから31名の参加者が集まり、タンチョウの生態や生息域の拡大、それにとまなう様々な問題やむかわ町での見守り活動などについて伺いました。



セミナーの様子

第2回目は11月11日(日)「シマフクロウの生態と調査秘話」を予定しています。ふるってご参加ください！



【自然観察路情報】

2018年9月19日(水) 10:00~12:00

観察された生きもの

《野鳥》

ヒシクイ、コブハクチョウ、オオハクチョウ、ヒドリガモ、マガモ、ハシビロガモ
 オナガガモ、コガモ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、トビ、コゲラ
 ハシブトガラ、シジュウカラ、ウグイス、メジロ、コサメビタキ、アオジ



《植物》

イヌタデ、ミゾソバ、アキノウナギツカミ、ノギリソウ、ヤナギタンポポ、エゾリンドウ
 ナガボノシロワレモコウ(以上、花)、ズミ、マユミ、ツルウメモドキ、チョウセンゴミシ
 ノブドウ、ケヤマウコギ、イチイ、コナラ、ミズナラ(以上、実やタネ)、ヤマモミジ、ツタ(以上、紅葉)

《昆虫・その他》

アキアカネ、コノシメトンボ、モンキチョウ、センチコガネ、エゾリス



【水鳥カウント調査結果】

2018年9月13日(木) 15:00~16:00

観察された水鳥、ワシ・タカ類 * ()内は個体数、(±)は「前後」の意味

コブハクチョウ(6)、オオハクチョウ(4)、ヨシガモ(20±)、マガモ(86±)
 オナガガモ(5)、コガモ(10)、カイツブリ(11)、カンムリカイツブリ(6)
 ハジロカイツブリ(5)、カワウ(1)、アオサギ(2)、トビ(2)、種不明カモ類(50±)



10月の自然予報

渡りのシーズンを迎え、湖は水鳥の姿でにぎわうでしょう。

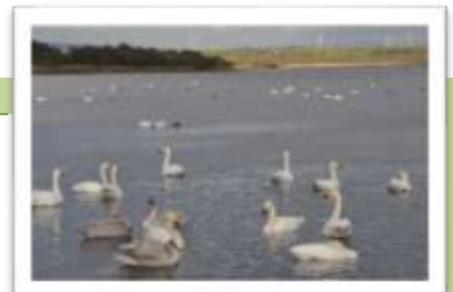
ガン類は、ヒシクイを9月11日に、マガンを9月20日にそれぞれ初確認。昨年より若干遅めの到着です。

ハクチョウ類の初認は例年10月の上~中旬。それ以降は数も多く見られるでしょう。オオハクチョウよりコハクチョウの方が先に渡来します。

例年に比べてエゾリンドウの花は少ないようですが、黄色いアキノキリンソウや薄紫色のナギナタコウジュが見られるでしょう。

チョウセンゴミシの赤い実がさらに目立つようになるでしょう。コナラやミズナラのドングリは残念ながら、先の台風で多くが落果してしまいました。

ヤマウルシやツタウルシなどの葉が赤く色づくようになるでしょう。触るとかぶれるので、気をつけてお楽しみください。



渡って来たばかりのコハクチョウ (2017年10月13日)



黄金色に変わるミズナラの葉



小さい実が集まって球形となるケヤマウコギ



アカトンボの仲間が見られ、ハネナガキリギリスの「チョン、ギ〜」、カンタンの「ルルルル・・・」という声もまだ聞かれるでしょう。



ズミやカラコギカエデの実を食べるシマリスが見られるかも知れません。

【フクロツチガキ】

ウトナイ湖周辺に広がる林の落ち葉の上などに
かたまって生えるキノコ。外皮は裂け、反転しま
す。漢字では「袋土柿」。なるほど、ヘタのつい
たカキに似た形をしています。皮をむいたミカ
ンのようにも見えます。成熟すると、頭部に開い
た小さな穴から胞子を飛ばします。



*ウトナイ湖に関するクイズ

毎回、その月にあわせたテーマで出題してい
あなたもウトナイ博士になれる?かも。

Q. ウトナイ湖にガン類(マガンやヒシクイ)
が渡って来る時期となりました。折しも文学
の秋。さて、明治時代に小説「雁」を書いた
作家は、次のうちどれでしょう。



答えは最後のページにあるよ。

傷病鳥獣ルームから



当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)
において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その
活動の一端をみなさまに知っていただくコーナーとして、ここでご紹介いたします。

ウミスズメ

2018年 8月 22日 噴れ 15:00

苫小牧市内の堤防で、市民が釣りをしていたところ
針にかかってきた。

夏羽特有の白い飾り羽
(眼の上から後方)が見られます



体重 210g

15:30 市民が直接保護センターへ搬入。

針は持ち込んだ方が外していたが、体の数力所
に、針による外傷を認める。直ちに傷口の消毒と
抗生剤の塗布を行った。

衰弱も認められず全身の状態に問題がなかった
ため、当日中に海岸でリリースした。

リリース

釣り針による外傷



ウミスズメ (チドリ目ウミスズメ科)

夏季は北海道沿岸、冬季は北海道から本州沿岸で見られま
す。人が近づけない崖や洋上の島の草地などに営巣するた
め、国内の繁殖状況は不明です。北海道では、天売島など
での繁殖が報告されていますが、個体数は少なく、国内希
少種に指定されています。海上でオキアミやアミ、イカナ
ゴの幼魚などを捕食します。



10月6日(土)	10月7日(日)	10月8日(月・祝)
毛糸で作るモフモフな渡り鳥 ①10:00~11:00 ②13:00~14:00 毛糸ポンポンで渡り鳥を作ります。 ①オオハクチョウ(初級編) ②オオジシギ(中級編) 定員:①5名 ②5名 ①②とも高校生以上(10/2から受付)	とまチョップも参加するよ! 渡り鳥・クイズ大会 13:00~14:00 渡り鳥に関する〇×クイズです。 (とまチョップの参加は13:30まで)	渡り鳥講座 オオジシギの道内調査から 見えてきたもの 13:00~14:00 調査で明らかになった、北海道内の 生息状況などについてお話しします。
秋の渡り鳥ウォッチング 14:30~15:30 渡ってきたばかりの、ガン類・カモ類・ハクチョウ類を観察します。		
マガンのカウント調査に挑戦! 9:00~17:00 カウンター(数取り器)を使って、ボードに書かれたマガンの数を数えてみましょう。		
みんなでつくろう! ~渡り鳥たちへのメッセージボード 9:00~17:00		

ボランティア募集説明会&自然案内ちょこっと体験

日時: 11月4日(日)10:00~12:00

対象: 高校生以上

定員: 申込み先着10名(10/2から受付)

内容: 当センターでのボランティア活動について説明します。また、その活動の一つである「自然案内」を体験いただきます。

第2回 野生動物に学ぶ救護セミナー

~シマフクロウの生態と調査秘話~

日時: 11月11日(日)10:00~12:00

対象: 高校生以上

定員: 申込み先着50名

内容: シマフクロウは現在北海道のごく限られた場所ではしか生息しておらず絶滅に最も近い種とされています。今回はシマフクロウの生態や保護増殖事業について講師(シマフクロウ環境研究会代表 竹中健さん)からお話を伺います。

市民ギャラリー

「宗像哲生 野鳥写真展」

日時: 10月2日(火)~11月3日(土・祝)

展示: 宗像 哲生さん

◆ウトナイ湖◆

周囲約9km、面積約275ha、平均水深約0.6mの淡水湖です。

鳥類はこれまでに約270種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。このためウトナイ湖は、国指定鳥獣保護区特別保護地区、ラムサール条約湿地、東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワークに指定、登録されています。

◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆

環境省が「野生鳥獣との共生環境整備事業」により建設し、苫小牧市と共同管理する施設です。

また、苫小牧市が業務の一部を(公財)日本野鳥の会に委託しています。

【利用案内】

〒059-1365 苫小牧市植苗156-26 TEL. 0144-58-2231 / FAX. 0144-51-8600

入館無料 / 開館時間: 午前9時~午後5時 / 休館日: 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

〇ノ丹キニルリスコク首ヲ我既`々ト羊ノ断愛`々「動」ノ研`込`業ヲ受クニ種ヲ・草車`ハ廻禁(1):景

